

介護講師研究会レポート —2022年度 介護講師研究会の報告—

上山 小百合*

2022年12月26日受理 (理論)

はじめに

介護講師研究会は、2018年3月より大阪より開催している。毎月1回のペースで継続している。目的としては、「介護講師に求められる知識・技術の習得と実践」を目指しています。参加者は、介護福祉士、看護師などの介護分野に関連した介護講師、また、現場で継続して働いているケアマネジャー、管理者、介護職員に方で構成されている。2022年度は、専門分野の講師を招いて、テーマに沿った企画やオンラインで全国の方が参加できるようにとハイブリッド対応をしている。本研修会で学んだことを吸収し、なおかつ発信できるインプットとアウトプットを両立させた研修カリキュラムとしている。

本稿では2022年度の介護講師の研修会の実際と今後の課題について述べる。

2022年度の毎月のテーマ内容

4月	認知症のわかりやすい資料・新しい情報
5月	アロマ講座
6月	ロールプレイやグループワークの進め方
7月	お休み
8月	移動・移乗の介護 (実技)

① 4月 認知症について

参加者は、15名ハイブリッド対応でオンライン4名、対面11名で実施する。

キーワードとしては、

- ・わかりやすい資料
- ・研修の進め方
- ・実際の利用者との実話
- ・尊厳を守る
- ・家族（認知症）の話
- ・新しい情報（若年性認知症）
- ・職員教育の際に、何を投げかけるか？

参加された方からの感想

- 若年性認知症の一番多い認知症は、アルツハイマー型認知症が多くなっているなどの新しい情報の共有があった。(テキスト等で変更あり)
- ヘルパー事業所の職員のケアの質も向上をしたいが、「どのようにすれば、認知症の方の気持ちの寄り添う声かけや観察ができるか？」
- 実体験や共感的理解ができる事例の活用が良い。
- わかりやすさがキーワードである。
- 今回は希望したら、研修テーマになり有難いと意見があった。

② 5月 アロマ講座

参加者は、14名オンライン3名で3つのグループに分かれる。

アロママッサージの会社を経営されている方を講師にお招きし、アロマに関する資料の説明と動画、アロマのスプレー作成を実施する。

キーワードは、

- ・癒し
- ・効果
- ・体験
- ・認知症ケアに効果
- ・アロマの種類
- ・楽しい
- ・表情が明るい
- ・動画

参加された方からの感想

- 嗅覚刺激からの精神的安定とつながる。
- アロマスプレーを作成できたことで、作り方がわかった。
- 対面で、皆さんと会話できたことで、リラックスできた。
- 体調により、匂いの感覚が変化することがわかった。
- 匂うまでにワクワクする気持ちやドキドキする感覚が楽しい。

③ 6月 ロールプレイやグループワークの進め方

参加者は、10名で2つのグループに分かれてグループディスカッションを実施する。

キーワードは、

- ・よく使うグループ討議の方法
- ・グループのメンバーの人数配分
- ・意見が言いやすい
- ・目的をもつ
- ・アイデア
- ・平等性
- ・使いやすいもの
- ・一体感
- ・自分から

参加された方からの感想

- 発言しやすい環境や雰囲気大切である。
- 他者の意見を聴く力がある。
- 他者の意見に対する興味を示す。
- 遊び感覚、ゲーム感覚を持つことは、新しい発見できた。
- 価値観や年齢が違う方のグループでは構成が大切である。

④ 8月 移動・移乗の介護（実技）

今回は、初めてである実技演習の内容の指導をテーマにする。参加者は、15名

- ・移乗動作のポイント
- ・移乗動作の声かけ
- ・初任者研修で教えることとガイドヘルパーで教えることの違い
- ・高齢者と障害者の求められるケアの違い
- ・一部介助方法の指導バリエーション
- ・安全な車いす移動・移乗に対する留意点

参加された方からの感想

- 日々の指導内容のすり合わせができた。
- なぜ、そのような指導（説明）をするのか？の確認ができた。
- 実技に関する講師陣における小さい違いを明確にできた。
(例えば、説明の時間や伝え方、体験重視)
- 日々の疑問の解消ができた。

皆さんへの質問や投げかけ

- 利用者の移乗の際に服を持ってもよい？ または悪い？
- 膝の保護する手の位置は？
- 移乗の際は、立位→座位 立位時の持つ場所は？

以上のポイントについて、様々な意見を聴くことができた。

今後の課題

コロナ渦での開催であるが、毎月（7月のみ休み）開催できたことを励みにし、今後も、感染対策をして、アイデアや工夫を凝らして、全国に方に参加できるように新しいメンバーを増やせるように努力していく。今後は、世界の介護事情のように日本の介護、福祉に留まらず、グローバルなテーマで意見交換や情報発信、受信していきたい。